

宇宙は果てしなきラストフロンティア データ通信量は天文学的水準に！？

2018年11月9日

宇宙はもう見上げるものだけではなく、データ活用を通じ、生活を豊かにしてくれるフロンティア。そのための整備が今始まっています。

宇宙はビッグデータの提供に最適な空間

「地球は青かった」とユーリー・ガガーリンがつぶやいてから約半世紀。当時は一握りの宇宙飛行士しか行けませんでした。今では民間人でも宇宙に行ける時代になりました。たくさんの人工衛星も飛んでいます。これは、宇宙から有益な情報が得られるため、世界各国の官民が競って人工衛星やロケットを開発し、打ち上げているからです。身近なところでは、気象予報などでも、衛星通信を活用しています。

膨大な衛星データ活用は今まさに黎明期

昨今、技術革新や新規参入企業の増加などを背景に、宇宙由来の様々なデータの質・量が向上しています。これらのデータ量は膨大であるものの、第四次産業革命と相まって大きなビジネスチャンスを生んでいます。天気予報は言うまでもなく、自動車の自動走行技術の向上、3次元地図の作成など、新しい分野での実証実験も行われています。

衛星データ活用により、近い将来、砂漠に落としたダイヤモンドも見つげられるかもしれません。

衛星通信データの活用事例

マーケティング分野

小売店の業績予測（駐車場の車の増減）

- 個別銘柄の業績・株価予測
- マクロ経済の動向把握

防災分野

大規模な洪水被害に対する迅速な全体把握

- 保険査定作業に向けた事前作業の効率・迅速化

インフラ分野

道路の変化と状態の把握

- 道路インフラメンテナンスへの活用
- 自動運転化時代に向けた道路地図の更新

その他の宇宙関連データ需要

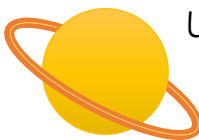
ロケット開発

多くのデータ分析や試行錯誤を伴うため、スーパーコンピュータのような計算機を必要とし、より高性能の部品の開発や研究が必要となります。



宇宙探索

遙か彼方にある惑星や銀河を探索し、宇宙の神秘を解明するためには、多くのデータ解析が必要となります。



衛星からのデータを活用するメリット

衛星通信データは、AIやクラウドといった新しいテクノロジーと非常に親和性が高く、従来はあまり解析対象とされていなかった地上の物体の時系列変化などに大きな意味を持つようになっています。

継続性

長期にわたりデータ取得が可能

連携性

地理情報・データベースとのリンクが容易

越境性

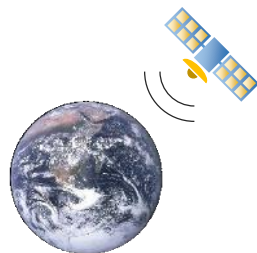
国境・山間・海域などを越えて観測

連続性

データ間隔のムラが無く取得しやすい

広域性

宇宙から見える地域は広く一瞬で広域を観測できる



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会